

1 学年 国 語

授業の受け方

- ① **しっかり聞く・考える**…先生の話や友達の意見をよく聞き、自分の意見を深めよう。特に物語や説明文では、登場人物の心情や筆者の意図を考えましょう。
- ② **ノートを工夫して書く**…ただ黒板を写すだけではなく、大切なポイントをまとめたり、気づいたこと、考えたことなどを書き込んだりして、後で復習しやすいノートを作りましょう。
- ③ **積極的に発言・質問する**…わからないことをそのままにせず、質問することが大切です。また、自分の意見を発表することで、理解が深まり、考える力も鍛えられます。

家庭学習のポイント

- ① **漢字練習・意味調べを丁寧に**…新しく習った漢字は、ただ書くだけではなく、意味や使い方も確認しましょう。また、教科書に出てくる言葉の意味を辞書で調べて、自分の言葉でまとめると理解が深まります。
- ② **ノートの見直し・整理をする**…授業で書いたノートを見返し、大切な部分に線を引いたり、書き足して整理しましょう。ポイントをまとめておくと、理解が深まり、テスト勉強に役立ちます。
- ③ **課題や宿題にしっかり取り組む**…課題や宿題は、授業の予習・復習としてとても大切です。一言で済ますのではなく、自分の考えや意見をきちんと書くことで、国語の力が身に付きます。

定期考査に向けた取り組み方

- ① **プリントやノートを見直す**…授業で配られたプリントやノートには、大切なポイントが書かれています。特に、登場人物の心情や説明文の要点、流れなどは大切です。
- ② **漢字を確実に覚える**…漢字は覚えれば確実に点数に結びつきます。毎日コツコツ練習しましょう。教材があれば利用しましょう。何回も書いて覚えることが重要です。
- ③ **ワークをしっかり活用する**…ワークは一通り解きましょう。その際、記号問題も記述問題も、答えの確認だけでなく、どうしてその答えになるのか考えると実力を磨くことができます。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 …学年に応じた漢字・文法の知識、文章の理解、表現の技能を身に付いているか。	定期考査、小テスト、提出物の状況
思考・判断・表現 …文章を深く考える力。自分の意見を表現する力。複数の文章、意見を関連させて考える力。自分の意見を表現する力。それらが身に付いているか。	定期考査、小テスト、提出物の状況
主体的に学習に取り組む態度 …自分の考えをもち、意欲的に学習に取り組もうとしているか。学習の見通しをもち、工夫する姿勢と、振り返りを行い、学びを深めようとしているか。	定期考査、提出物の状況、授業態度の状況

1 学年 社 会

授業の受け方

- ① 自ら学ぶ姿勢を大切に、積極的に学びましょう。
- ② 単元の学習の見通しを立てて、取り組みましょう。
- ③ わからないことがあったら、とにかく質問をしましょう。

家庭学習のポイント

- ① その日学んだ内容を5分～30分で振り返りましょう。最低でも教科書を1読。できる人はその範囲のワークにも取り組んでみましょう。
- ② ワークの取り組み方として、何回も解き直しができるように、学習ノートを活用しましょう。ワークには直接書き込まないようにしましょう。
- ③ 時間をかけすぎない。継続できなくなってしまう。もちろん、社会だけ時間をかけても学習に偏りが出てしまいます。長くても30分。

定期考査に向けた取り組み方

- ① 教科書の範囲をしっかりと読み込もう。読んでいてわからない文章があったらすぐ質問しましょう。※質問教室や、教科のチャットを活用しましょう。
- ② ワークを最低2周はしよう。1度問題を解いても知識が完全に定着したとは言えません。3周目は間違えた問題のみ取り組むとか、工夫できるとなお良いです。
- ③ 学んだ内容を、人に説明できるようにしよう。言葉にすることでわからないが明確になり、勉強の見通しが立ち、理解も進みます。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 地理・歴史で取り扱った内容を理解し、情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	学期はじめ小テストの状況 単元末テストの状況 定期考査の状況
思考・判断・表現 地理・歴史における課題の解決に向けて思考・判断し、それらを基に議論しているか。	定期考査の状況 探究課題の記載内容 振り返りシートの記載内容
主体的に学習に取り組む態度 より良い社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとしているか。	探究課題の記載内容 学習課題の記載内容 振り返りシートの記載内容

1 学年 数 学

授業の受け方

- ① **まずはしっかり授業の話を書くことを第一に授業を受けよう！**
ノートやプリントを書くことに必死になり、話を聞いておらず、理解できなかったということになりがちです。そうならないようにするために、話をしっかり聞くことを大切にしましょう。
- ② **わからないところはすぐに解決！**
理解できていないところはそのままにすると、授業にどんどんついていけなくなってしまいます。授業後の休み時間等、先生や友達に質問して、解決することを心がけましょう。
- ③ **忘れ物をしないように！**
教科書、ノート、ワーク（わかる数学①）、ファイル2冊、クロムブックの6点セットを毎回の授業で持ってきてきましょう。また、図形の単元では、直定規やコンパスが必要になります。

家庭学習のポイント

その都度の復習を大切にしよう！

授業で学習した内容の範囲のワーク（わかる数学①）を次の授業がある日までに解き、答え合わせ・間違えた問題のやり直しをするように習慣づけましょう。数学は積み重ねの教科です。ワークを解くことで授業内容の理解度を確認することができ、前日までの授業内容を理解した状態で、次の授業を受けることができるようになります。

定期考査に向けた取り組み方

- ① **必ず答え合わせとやり直しを！**
ワーク（わかる数学①）を解き、間違えた問題はきちんと解きなおしをしましょう。解いて終わりにしてしまうと、解き方を間違えて理解してしまっていることがあります。必ず答え合わせをし、正しい解き方を理解しておくことが大切です。
- ② **何度も繰り返し練習を！**
何度も何度も繰り返し問題を解くことで、スピードと正確性が身についていきます。すらすらと解けるようになるまで繰り返し問題を解くようにしましょう。
- ③ **語句や言葉の意味を正しく理解しよう！**
語句や言葉の意味などは授業ノートや教科書を使って正しく理解しておきましょう。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 数量や図形の基礎的な概念の理解、数学的に表現・処理したりする技能が身についているか。	・ 定期テストの状況 ・ 小テストの状況
思考・判断・表現 数学を活用して論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見出し考察する力、的確に表現する力が身についているか。	・ 定期テストの状況 ・ 小テストの状況 ・ テストのやりなおしへの取り組み
主体的に学習に取り組む態度 数学的な活動の楽しさや数学の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしているか。	・ 定期テストの状況 ・ 小テストの状況 ・ 授業・ノート・ワーク・ドリル・テストのやりなおしへの取り組み

1 学年 理 科

授業の受け方

- ① その時間の課題をや目標を意識して、学ぼうという気持ちをもって授業を受けよう。
- ② みんなで意見を共有するときは自分の意見を、失敗を恐れずに積極的に発表しよう。
- ③ 授業の最後には、学んだことを振り返り、わからないことがあったときは、その日のうちに友達や先生に聞こう。

家庭学習のポイント

- ① その日に学んだノートやスライドを見返し、教科書を一読しよう。
- ② 余裕のある人はその日に学んだところのワークの問題に取り組みましょう。
- ③ 日々、復習を継続することが大切です。無理せずできる範囲で続けていきましょう。

定期考査に向けた取り組み方

- ① テスト範囲の教科書のページを理解するまで読み込もう。
- ② ワークは最低2回取り組みましょう。間違えた問題はわかるまで解きなおそう。
- ③ 計算に必要な公式、作図の方法、重要語句は内容を理解し、必ず覚えましょう。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けているか。	定期テストの状況 小テスト、単元テストの状況 パフォーマンステストの状況
思考・判断・表現 自然の事物・現象から問題を見だし、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究しているか。	定期テストの状況 小テスト、単元テストの状況 レポートの記載内容
主体的に学習に取り組む態度 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど科学的に探究しようとしているか。	振り返りの記載内容 授業の取組状況 提出物の記載内容

1 学年 音 楽

授業の受け方

- ① 音楽の授業の基本は、「聴く」ことです。音楽に耳を傾け「聴く」、先生の話当真に「聴く」ことです。そこから音楽の深い世界に入っていきましょう。
- ② 音楽について「こんな感じがするな」、「何でこう感じるのだろうか」、「こうやって表現したいな」ということを繰り返し考えていきます。素直な考えをプリントにまとめましょう。
- ③ 歌を歌うときには、恥ずかしがらずに自分を表現しましょう。
- ④ 持ち物は、教科書 2 冊・コーラスフェスティバル（合唱本）、ファイル、筆記用具の 5 点セットです。プリントをファイルに保管する習慣をつけましょう。

家庭学習のポイント

- ① ジャンルを問わずいろいろな曲を聴いて心を耕してください。
折に触れ「この曲は、こういう特徴があるから、こういう気持ちになるのだな」という捉え方で音楽を聴いてみるのもお勧めです。
- ② 楽器を習っている人は、たくさん練習をして上達してください。
- ③ 音楽は“心”で感じるものです。心を耕すために、読書や映画、絵画など質の高い芸術に親しみましょう。

定期考査に向けた取り組み方

- ① 定期考査は学期ごとに 1 回ずつ、年間で 3 回行います。また、実技テスト（歌のテスト）を原則学期に 1 回行います。
- ② 授業で扱ったプリントを、教科書や楽譜（コーラスフェスティバル）と照らし合わせて復習してください。
- ③ 定期テストと日頃の授業の取り組み（プリントや実技テスト）を 5 : 5 で評価します。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 曲想や音楽の構造、背景などとの関りを理解する。 音楽表現を創意工夫したり音楽の良さを味わって聴く能力を身に付けているか。 音楽表現を生み出すための発声や発音などの技能を身に付けているか。	日頃のプリントの記入内容 定期考査の状況 実技テストの状況
思考・判断・表現 音楽を形づくる要素を知覚し特徴や雰囲気を感じ取り、曲の表現を工夫し自分の考えをもっているか。 音楽の特徴や感じたことを自分の言葉で表現しているか。	日頃のプリントの記入内容 定期考査の状況
主体的に学習に取り組む態度 音楽や音楽文化に親しめるよう、音楽活動を楽しんで取り組んでいる。音楽活動に粘り強く取り組み、自己調整しながらより良い音楽を求めているか。	日頃のプリントの記入内容 授業への取り組み状況

1 学年 美 術

授業の受け方

- ① **先生が全体に話す時は前を向いて顔を上げ、静かに話を聞きましょう。**
美術の授業は制作がメインですが、話を聞いていないと何をやるのかわからなくなってしまいます。制作中であれば一度手を止めて、しっかりと話を聞きましょう。
- ② **不必要な立ち歩きはしない。**
教室の前後に貸し出し用の用具を準備しています。それらを取りに行ったり、水を取り替えに行ったりすること以外で席を離れる場合は、必ず先生に声をかけてください。
- ③ **丁寧な制作を心掛ける。一生懸命取り組む。完成させる。**
美術の能力は全て日々の生活と制作の積み重ねで向上します。また、素早く作業を終えれば良いというわけではありません。無駄話はせず、丁寧に、全力で取り組みましょう。

家庭学習のポイント

- ① **視野を広げましょう。**
美術館へ行く、画集を読む、映画を観る、音楽を聴く、読書をする、新聞を読む等、知識身に付け視野を広げることを何かしらしてください。発想の幅が広がります。

定期考査に向けた取り組み方

- ① **定期考査は、観点1（100）、観点2（100）の200点中50点分として扱います。**
制作だけではなく、試験の点数もしっかり取れるよう勉強してください。また、『漢字で書きなさい』という問題が出る場合もあります。テスト範囲の内容は漢字まで覚えるようにしてください。
- ② **描く課題が出る場合もあります。**
知・技を問う問題であれば、テスト前に自分でもう一度やり方を確認し、最低1回は描いてみてください。思・判・表を問う問題は視野を広く持つことが大切です。『家庭学習のポイント』をヒントにし、日々、発想力を高めておきましょう。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 対象や事象を捉える造形的な視点について理解する。意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。	完成作品の状態、 その他、ワークシート・振り返り等、提出物の記載内容 ※classroomでの課題を含む 定期考査の状況、授業中の取組状況
思考・判断・表現 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	完成作品の状態、 その他、ワークシート・振り返り等、提出物の記載内容 ※classroomでの課題を含む 定期考査の状況、授業中の取組状況
主体的に学習に取り組む態度 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	完成作品の状態、 その他、ワークシート・振り返り等、提出物の記載内容 ※classroomでの課題を含む 授業中の取組状況

1 学年 保健体育

授業の受け方

① 安全・安心な授業を心がけましょう。

保健体育の授業は運動を通して、自己の可能性を広げてくれる教科です。そこで授業に参加する全員がけがや事故をせずに行えるように、先生の話や指示をよく聞きましょう。また参加する全員が安心して授業を行えるように、お互いを支える声かけやアドバイスを送りましょう。

② ねらいを理解し、振り返りを行いましょ。

各授業のねらいを理解しましょう。そして、学習カードで振り返りを行い、自分自身の知識を広げたり、考えを深めたりしましょう。

③ 仲間とともに協力しながら、授業に取り組みましょ。

仲間とともに運動を行うことで楽しさが増えたり、喜びを分かち合ったりすることができます。また、それぞれの運動種目において、仲間にアドバイスをすることを大切にしましょう。

家庭学習のポイント

① 日ごろから運動に親しんでみよ！

運動をすることによるメリットはたくさんあります。ストレスの解消や学習能力の向上などが期待されます。一人でできるランニングや仲間と遊ぶことなどどんなことでもいいので、日ごろから運動をしてみましょう。

② 授業で学んだことを実生活で生かしてみよ！

授業で学んだ知識やストレッチなどを家庭で実践してみましょう。

定期考査に向けた取り組み方

① 授業で配布したプリントや学習カードを活用して、学習しましょ。

② 「中学校体育実技」をよく読み、各運動種目の歴史やルール等を確認しておきましょ。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 運動の合理的な実践を通して、運動の良さや楽しさを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けているか。	・ 定期考査 ・ 単元テスト ・ 取り組み状況
思考・判断・表現 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えているか。	・ 定期考査 ・ 学習カード ・ 取り組み状況
主体的に学習に取り組む態度 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとしているか。健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をしようとしているか。	・ 学習カード ・ 取り組み状況

1 学年 技 術

授業の受け方

① 「安全が第一優先」を心がける。

木工室・金工室にはたくさんの機械や工具が置いてあります。正しい使い方をすれば便利なものですが、使い方を誤ると大きな事故や怪我につながります。とにかく安全を最優先に授業を受けるようにする。

② 授業中の私語はつつしむ。

教室と違い、向かい合わせの机で授業を受けます。となりや向かいの人との距離がとても近い環境です。授業に関係のないおしゃべり等で、周りに迷惑をかけないようにする。ただし、作業時は、仲間とコミュニケーションをとりながらの授業を可とします。

③ 時間を守る

基本、毎回工室が金工室で授業を行います。教室移動となるので、チャイムが鳴った時には必ず自席に座っていることを心がける。

家庭学習のポイント

① 特に家庭学習を行う必要はありません。

ものづくりや電気の知識また情報を扱い方等、学習した内容を家庭生活に生かしていきましょう。長期休業時に出題される課題は、必ず自分の力で行ってください。

定期考査に向けた取り組み方

① 授業で説明した内容が試験範囲となります。試験前にノートや配布されたプリントを中心に復習しておく。作業についての問題も出題されることもあります。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 ものづくりで、材料の特徴や工具の使い方などを理解しているか。また、それらを使って使用目的にあった作品を製作できたか。	・ 定期考査の状況 ・ 授業中の取組状況 ・ ノートの記載内容 ・ 作品の完成度
思考・判断・表現 自らの課題を見つけ、見通しをもって作業を行い、探究して表現できているか。自分の工夫やアイデアを取り入れて作品を製作し、製作の過程や結果の評価・改善について考えているか。	・ 定期考査の状況 ・ 作品に対する工夫やアイデア状況 ・ 授業中の取組状況 ・ ノートの記載内容 ・ ワークシートの記載内容
主体的に学習に取り組む態度 主体的に技術に関する知識技能を身に付け、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしているか。	・ 定期考査の状況 ・ 授業中の取組状況 ・ ノートの記載内容 ・ 作品の完成度

1 学年 家 庭

授業の受け方

- ① 通常の持ち物は教科書と家庭科ノート（ワーク）です。準備して着席しましょう。
- ② 学習内容をしっかりワークや配布プリントに記入し、日常生活で実践することを念頭に入れて学んでいきましょう。
- ③ 授業は常に誠実に取り組み、質問や発表を積極的にしていきましょう。

家庭学習のポイント

- ① 宿題が出たときは忘れずに。また、提出日を守りましょう。
- ② 教室や調理室で学んだことを家庭で実践してみて、知識・技能を確かなものにしていきましょう

定期考査に向けた取り組み方

- ① 教科書、ワーク、プリントを復習し理解して、大事なところは覚えておきましょう。
- ② 調理実習がテスト範囲の場合、調理方法、調理過程をよく理解しておきましょう。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 衣食住生活などの機能について理解し、生活の自立に必要な知識・技能が身に付いているか	定期テストの状況、 小テスト
思考・判断・表現 生活の自立に必要な知識・技能を習得し、考察して的確に表現する力が身に付いているか。	ワークの記載内容、配布プリントの記載内容 定期テストの状況、授業中の取り組み状況
主体的に学習に取り組む態度 製作や調理などの活動の楽しさを実感して根気強く取り組み、生活に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返り、評価・改善しようとして りしているか	実習の反省レポートの記載内容、 ワークの記載内容、配布プリントの記載内容 授業中の取り組み状況

1 学年 英 語

授業の受け方

- ① 指示された授業道具を忘れずに持ってきてきましょう。タブレットは充電しておきましょう。教科書、ビンゴ、ファイル、ノート、タブレットといろいろな道具を使います。
- ② 英語の発音やコミュニケーション活動、発表活動、パフォーマンス等に、積極的に取り組みましょう。授業は「聞く」のではなく、「参加」することが大事です。
- ③ ビンゴや授業用ノートの予習、プリントの問題などの宿題をやってくると、授業の理解が進みます。

家庭学習のポイント

- ① 宿題をやりましょう（授業用ノートに予習、ビンゴを書くなど）。
- ② デジタル教科書を使い、教科書の音読をしましょう（1ページ20回目標）。
- ③ 習った単語や文は、とにかく覚えましょう。言えるようになったら、書けるようになりましょう。

定期考査に向けた取り組み方

- ① ビンゴの単語や教科書の単語、文など聞いたり読んだりしてわかるように練習しましょう。デジタル教科書、ワークのデジタルコンテンツも活用しましょう
- ② ワークを繰り返しやりましょう。ワーク本体に書きこまず、付属ノートを使用して複数回取り組みましょう。
- ③ 習った単語や文を使い、自由自在に表現できるくらいに、自主学习ノートに練習しましょう。1年生で習う単語や文法はたくさんあるけれど、とても重要です。繰り返し練習しましょう

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 文法や語彙などを理解し、コミュニケーションで活用できる基礎的な技能を身に付けているか。	定期考査の状況 小テストの状況、web テストの状況、プリント記載内容など
思考・判断・表現 コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、自分の考えなどを的確に表現したり伝え合う力を身に付けているか。	定期考査の状況 授業での活動状況 パフォーマンステストの状況 英作文記載内容など
主体的に学習に取り組む態度 主体的にコミュニケーションを図ろうとするため、粘り強く取り組み、自分で過程を振り返ったり、振り返って評価・改善しようとしていたりしているか。	単語テスト点数の状況、振り返りカード記載内容、授業用ノートなどの記載内容、パフォーマンステストの状況、授業での取り組み状況など